



# 高糖度ミニトマト「トマデリッシュ」のブランド向上の取組

橋本農園（岡山県赤磐市）

TEL：080-1900-1700



## 経営概要

令和8年3月16日現在

**経営面積** ハウス20a（中玉トマト7a、ミニトマト13a）

**主な業務** ミニトマトを中心としたトマトの生産・出荷

**労働力** 代表 橋本 一樹 社員2名及びパート4名

## 取組の経緯

- ・父親の代では花（洋蘭）の栽培・販売を行っていたが、洋蘭の販売不振を契機に、平成25年頃から既存ハウスを活用できるトマトへ転換。
- ・野菜ソムリエ関連の品評会に出品する中、令和4年4月に第1回全国ミニトマト選手権で最高金賞を受賞。



トマデリッシュと表彰状



## 取組内容

### 橋本農園が 目指すトマト

- ・新鮮でパリッとした皮と果肉の歯応えと果汁の甘みに加え、深い「旨味」が感じられる高糖度のトマト。

### 高糖度トマトの 栽培方法の確立

- ・1株ずつ独立したポットで栽培する「ポットファーム方式」を採用。
- ・培養土に杉皮・やしガラ等を混合し、点滴チューブで水分・液肥を自動供給。
- ・水分量をセンサーで管理し、必要最小限の給水でストレスを与え、高糖度のトマトを生産。
- ・栽培のポイントである、温度・湿度・液肥量など環境制御を行う。



橋本一樹さん（代表）

### 販路とブランド化

- ・11月～6月頃に高糖度トマトを収穫し「トマデリッシュ」として出荷。
- ・高糖度トマトとしてブランド認知度の上昇に伴い、岡山中央卸売市場において高値で取引され、百貨店・高級スーパー等へ流通するほか、ふるさと納税やリピーターへの販売も堅調。
- ・「トマデリッシュ（登録商標）」は、パンフレットと専用箱のデザインをプロに依頼し、商品価値をアピール。



ハウス全景



## 今後の展望

- ・令和4年第1回全国ミニトマト選手権で最高金賞受賞後、「トマデリッシュ」のブランドが定着してきており、引き続き高糖度トマトの栽培に取り組み販路拡大を進める。
- ・できるだけ農薬を減らし、食味の良いミニトマトづくりを継続。
- ・なお、加温栽培のため、燃料費や資材の高騰の影響が大きく、どのように吸収していくかが課題。